

**製品名: Elf-4 ウサギポリクローナル抗体****カタログ番号: APRab10402**

研究使用のみ

**概要**

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,ELISA
反応性	ヒト、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,ELISA 1:5000-1:20000
分子量	70kDa

**抗原情報**

遺伝子名	ELF4
別名	ELF4; ELFR; MEF; ETS-related transcription factor Elf-4; E74-like factor 4; Myeloid Elf-1-like factor
遺伝子 ID	2000.0
SwissProt ID	Q99607
免疫原	抗血清はヒト ELF4 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 178-227

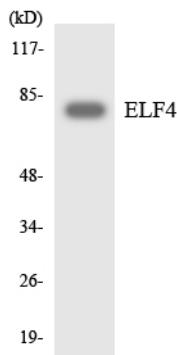
**背景**

この遺伝子によってコードされるタンパク質は、CSF2、IL3、IL8、および PRF1 遺伝子のプロモーターに結合して活性化する転写活

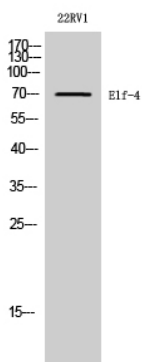
性化因子である。コードされるタンパク質は、ナチュラルキラー細胞の発達と機能、自然免疫、およびナイーブ CD8+細胞における細胞周期停止の誘導に関与する。この遺伝子には、同じタンパク質をコードする2つの転写バリエーションが見つかっている。[RefSeq提供、2010年1月]、機能：コンセンサス 5'-WGGA-3'を含む DNA 配列に結合する転写活性化因子。造血成長因子遺伝子 CSF2、IL3、IL8、およびウシリゾチーム遺伝子のプロモーターを転写活性化する。RUNX1 と相乗的に作用して IL3 プロモーターを転写活性化する。また、ナチュラルキラー（NK）細胞の PRF1 プロモーターも転写活性化する。NK 細胞および NK T 細胞の発達と機能、および自然免疫において役割を果たします。誘導：赤白血病細胞においてポニステロン A によって誘導されます。類似性：ETS ファミリーに属します。類似性：1つの ETS DNA 結合ドメインを含みます。細胞内局在：PML 核体への蓄積は PML によって媒介されます。サブユニット：N 末端領域を介して RUNX1 Runt ドメインと相互作用します。C 末端を介して PML と相互作用し、この相互作用によりウシリゾチーム遺伝子の ELF4 トランス活性化が促進されます。組織特異性：胎盤およびさまざまな骨髄性白血病細胞株で豊富に発現しています。心臓、肺、脾臓、胸腺、末梢血リンパ球、卵巣、結腸で中程度の発現が見られます。Jurkat T 細胞およびその他の T 細胞株での発現レベルが低く、脳では発現が見られません。

## 研究分野

## 画像データ



ELF4 抗体を使用した RAW264.7 細胞の溶解物のウエスタンブロット分析。



1: 2000 に希釈した Elf-4 ポリクローナル抗体を使用した 22RV1 細胞のウエスタンブロット解析。